

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース		2023年		1年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	講義	Java文法 I		坂東 佑一	有	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

プログラミング初心者を対象に、Java言語を通じてプログラミングの基礎を習得する。

【講義概要】

プログラムの作成方法、コンパイル、実行の仕方を学習する。また、基本的な制御構造として、if/while/for/switch文などを完璧にマスターする。教科書をベースに説明するため教科書は毎回必携すること。

回	授業計画及び学習の内容
1	第1章 プログラムの書き方（基礎知識）
2	第1章 プログラムの書き方（変数とデータ型）
3	第2章 式と演算子
4	第3章 条件分岐と繰り返し
5	第3章 条件分岐と繰り返し
6	総合演習
7	中間試験
8	第4章 配列
9	第4章 配列
10	第5章 メソッド
11	第5章 メソッド
12	総合演習
13	発展問題
14	発展問題
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	100%					100%

- (補足)
- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
 - ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

慶應義塾大学理工学部情報工学科卒(学士)、東京大学大学院学際情報学府修了(修士)
NTT研究所(2013-2015)にてクラウド基盤に関する研究、慶應義塾ITC(2015-2020)にて勤務

【教科書・参考文献】

スッキリわかるJava入門 第3版 (インプレス)

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース		2023年		1年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	講義	Java文法Ⅱ		坂東 佑一	有	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

Java言語を通じ、オブジェクト指向プログラミングの概念及び実装力を身につける

【講義概要】

オブジェクト指向プログラミングとは何たるかを講義する。開発コース向けの講義であることから相応の課題を課すため、自主学習も必要不可欠である。毎回、教科書をベースに説明するため教科書は必携すること。

回	授業計画及び学習の内容
1	イントロダクション、メソッドの復習
2	メソッドの復習、前期までの範囲で実力確認
3	第7章オブジェクト指向をはじめよう、第8章 インスタンスとクラス
4	第8章 インスタンスとクラス
5	第9章 さまざまなクラス機構
6	第9章 さまざまなクラス機構
7	中間試験
8	第10章 継承
9	第11章 高度な継承
10	第11章 高度な継承
11	第12章 多態性
12	第12章 多態性
13	第13章 カプセル化
14	第13章 カプセル化
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合	100%					100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

慶應義塾大学理工学部情報工学科卒(学士)、東京大学大学院学際情報学府修了(修士)
NTT研究所(2013-2015)にてクラウド基盤に関する研究、慶應義塾ITC(2015-2020)にて勤務

【教科書・参考文献】

スッキリわかるJava入門 第3版 (インプレス)

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース		2023年		1年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	Java演習 I		坂東 佑一	有	3単位 60時間

【授業の到達目標及びテーマ】

プログラミング初心者を対象に、Java言語を通じてプログラミングの基礎を習得する。

【講義概要】

Java文法Iと完全に連動した演習を行う。

回	授業計画及び学習の内容
1	第1章 プログラムの書き方（基礎知識）
2	第1章 プログラムの書き方（変数とデータ型）
3	第2章 式と演算子
4	第3章 条件分岐と繰り返し
5	第3章 条件分岐と繰り返し
6	総合演習
7	中間試験
8	第4章 配列
9	第4章 配列
10	第5章 メソッド
11	第5章 メソッド
12	総合演習
13	発展問題
14	発展問題
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	100%					100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

慶應義塾大学理工学部情報工学科卒(学士)、東京大学大学院学際情報学府修了(修士)
NTT研究所(2013-2015)にてクラウド基盤に関する研究、慶應義塾ITC(2015-2020)にて勤務

【教科書・参考文献】

スッキリわかるJava入門 第3版 (インプレス)

東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	時間割	履修対象	
工業専門課程	情報処理科/システム開発コース	2023年		1年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	Java演習Ⅱ	坂東 佑一	有	3単位 60時間

【授業の到達目標及びテーマ】

Java言語を通じ、オブジェクト指向プログラミングの概念及び実装力を身につける

【講義概要】

Java文法IIと完全に連動して演習を実施する。

回	授業計画及び学習の内容
1	イントロダクション、メソッドの復習
2	メソッドの復習、前期までの範囲で実力確認
3	第7章オブジェクト指向をはじめよう、第8章 インスタンスとクラス
4	第8章 インスタンスとクラス
5	第9章 さまざまなクラス機構
6	第9章 さまざまなクラス機構
7	総合演習
8	第10章 継承
9	第11章 高度な継承
10	第11章 高度な継承
11	第12章 多態性
12	第12章 多態性
13	第13章 カプセル化
14	第13章 カプセル化
15	総合演習

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	100%					100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

慶應義塾大学理工学部情報工学科卒(学士)、東京大学大学院学際情報学府修了(修士)
NTT研究所(2013-2015)にてクラウド基盤に関する研究、慶應義塾ITC(2015-2020)にて勤務

【教科書・参考文献】

スッキリわかるJava入門 第3版 (インプレス)

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース		2023年		1年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	Python		稲垣 高宏	有	1.5単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

Java言語を知っているとしてPythonを使えるようにする。

【講義概要】

実習中心として、なるべく多くのプログラムを実習する。
中間と期末試験は行わない。実習中心とする。

回	授業計画及び学習の内容
1	基本のデータの型と演算
2	変数とif文
3	リスト
4	辞書。繰り返し
5	ここまでの練習問題
6	関数、ラムダ式
7	ここまでの練習問題2
8	クラス
9	クラス2、継承など
10	tkinter、canvas
11	テキスト処理
12	ここまでの練習問題（課題1）
13	AIライブラリの使用
14	AIライブラリの使用
15	ここまでの練習問題（課題2）

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	60%			40%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

メーカー系IT企業でSE、プログラマとして開発業務に従事する。退職後に、シグマプロジェクトの研究員を務める。
20代で起業して外資系やメーカー系の会社などを中心に開発業務に従事する。開発のほかに、マニュアルなどの翻訳や出版業務も行う。

【教科書・参考文献】

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース		2023年		1年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	ホームページ		山田 忍	有	1.5単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

HTMLを構成するタグの役割や属性について、意味をしっかりと理解したうえでセマンティックを意識したウェブサイトが制作できるようになる。HTML/CSSの基礎を習得し、今後のWebプログラミングのための下地を作る。

【講義概要】

本講義ではウェブ制作の言語であるHTML5とCSS3の基礎を、演習を通して学習。
Webオーサリングツールの基本的な使い方についても習得する。
各回、理解度を図るための小テストも実施する。

回	授業計画及び学習の内容
1	HTML基礎 ウェブサイトの仕組み、環境構築、HTML基本構文を学ぶ
2	HTML基礎 HTMLの要素、リンクの設定、パスの指定方法を理解する
3	CSS基礎 CSS基本構文 セレクタの指定方法、プロパティを理解する
4	CSS基礎 CSS基本構文 セレクタの指定方法、プロパティを理解する
5	CSS基礎 CSSのボックスモデルを理解する
6	HTML&CSS基礎 リスト・ナビゲーションの作成方法を理解する
7	HTML&CSS基礎 フレックスボックスによるレイアウトを学ぶ 「主軸と交差軸」
8	HTML基礎 metaタグ、OGP、URLの正規化を学ぶ
9	CSS基礎 リセットCSS、CSSの設計を学ぶ
10	HTML&CSS基礎 シングルカラムレイアウトのページを作成する
11	HTML&CSS基礎 マルチカラムレイアウトのページを作成する
12	実践 Webページ制作課題①
13	実践 Webページ制作課題②
14	実践 Webページ制作課題③
15	実践 Webページ制作課題④

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合	40%	40%		20%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

専門学校やエンタメ業界にてウェブ広報/ウェブデザイナーとして企画・制作業務に従事。

【教科書・参考文献】

プロを目指す人のHTML&CSSの教科書

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース		2023年		1年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 必修	講義	ハードウェア I		坂東 佑一	有	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

基本情報技術者試験(FE)の範囲を中心に、情報科学基礎について浅く広く知識を習得し、情報系分野を専攻する学生としての礎を築く。今後のすべての授業の土台となる極めて重要な講義である。

【講義概要】

基数変換、コンピュータの構成要素、CPUの動作原理、論理回路、入出力装置といった内容を中心に浅く広く説明する。余った時間は演習問題を解く時間に当てるため、以下に示す問題集は毎回必携すること。

回	授業計画及び学習の内容
1	イントロダクション、基数変換
2	基数変換
3	基数変換、2の補数、接頭語
4	基数変換に関するテスト
5	誤差、コンピュータの構成要素、ノイマン型コンピュータ
6	記憶階層、キャッシュ、記憶素子
7	中間試験
8	シフト演算、論理演算
9	論理回路
10	CPUの動作原理と性能評価
11	割り込みの概要と分類
12	キーボードやディスプレイといった様々な入出力装置の紹介
13	磁気ディスク、RAID
14	浮動小数点
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合	100%					100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

慶應義塾大学理工学部情報工学科卒(学士)、東京大学大学院学際情報学府修了(修士)
NTT研究所(2013-2015)にてクラウド基盤に関する研究、慶應義塾ITC(2015-2020)にて勤務

【教科書・参考文献】

ITワールド、基本情報技術者 科目A問題集

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース	2023年		1年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 必修	講義	ハードウェアⅡ	坂東 佑一	有	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

基本情報技術者試験(FE)の範囲を中心に、情報科学基礎について浅く広く知識を習得し、情報系分野を専攻する学生としての礎を築く。今後のすべての授業の土台となる極めて重要な講義である。

【講義概要】

基数変換、コンピュータの構成要素、CPUの動作原理、論理回路、入出力装置といった内容を中心に浅く広く説明する。余った時間は演習問題を解く時間に当てるため、以下に示す問題集は毎回必携すること。

回	授業計画及び学習の内容
1	イントロダクション、基数変換
2	基数変換
3	基数変換、2の補数、接頭語
4	基数変換に関するテスト
5	誤差、コンピュータの構成要素、ノイマン型コンピュータ
6	記憶階層、キャッシュ、記憶素子
7	中間試験
8	シフト演算、論理演算
9	論理回路
10	CPUの動作原理と性能評価
11	割り込みの概要と分類
12	キーボードやディスプレイといった様々な入出力装置の紹介
13	磁気ディスク、RAID
14	浮動小数点
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他()	合計
割合	100%					100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

慶應義塾大学理工学部情報工学科卒(学士)、東京大学大学院学際情報学府修了(修士)
NTT研究所(2013-2015)にてクラウド基盤に関する研究、慶應義塾ITC(2015-2020)にて勤務

【教科書・参考文献】

ITワールド、基本情報技術者 科目A問題集

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース		2023年		1年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 必修	講義	ソフトウェア		高嶋 知由	無	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

特区基本情報対策の対象となる範囲を中心に、コンピュータ科学基礎、ソフトウェアの基礎について学習する。

【講義概要】

テキストの他、プロジェクトで図や写真を多用し理解度を深める。
毎回小テストを行い、確実な知識の習得を促す。

回	授業計画及び学習の内容
1	情報処理システムの処理形態
2	様々なシステム
3	高信頼化システムの構成
4	処理能力の評価、性能測定の技法
5	信頼性の評価
6	ヒューマンインタフェース
7	中間試験
8	マルチメディア
9	基本ソフトウェア ジョブ管理
10	基本ソフトウェア タスク管理
11	基本ソフトウェア 記憶管理
12	プログラム言語と言語プロセッサ
13	ファイル、ディレクトリ、バックアップ
14	まとめ問題演習
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合	70%	30%				100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

ITワールド (インフォテックサーブ)、基本情報過去問題

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース		2023年		1年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 必修	講義	アルゴリズム I		川前 亘	有	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

フローチャートの表現方法及び基本情報技術者試験で使用する擬似言語の表記法を学ぶ。
また、基本的なアルゴリズムやデータ構造についても学習する。

【講義概要】

各種問題に対して処理要素を解説し、手順を考えさせ実際にフローチャートや擬似言語を書かせる。

回	授業計画及び学習の内容
1	アルゴリズムとは、流れ図とは、基本制御構造
2	変数と定数、擬似言語（順次）
3	擬似言語（分岐）、カウンタ、分岐を使った繰り返し
4	擬似言語（繰り返し）
5	関数
6	集計、中間試験対策
7	中間試験
8	二重ループ
9	複合条件、一次元配列
10	二次元配列
11	探索処理（線形探索法、二分探索法）
12	整列処理①（基本選択法）
13	整列処理②（基本交換法、基本挿入法）
14	まとめ、期末試験対策
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	70%	20%		10%		100%

（補足）
・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

大手化学系メーカーで社内SEを経験後、独立系Silerでシステム開発経験有

【教科書・参考文献】

擬似言語で学ぶアルゴリズム（インフォテックサーブ）

東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	時間割	履修対象	
工業専門課程	情報処理科/システム開発コース	2023年		1年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 必修	講義	アルゴリズムⅡ	川前 亘	有	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

フローチャートの表現方法及び基本情報技術者試験で使用する擬似言語の表記法を学ぶ。
また、基本的なアルゴリズムやデータ構造についても学習する。

【講義概要】

各種問題に対して処理要素を解説し、手順を考えさせ実際にフローチャートや擬似言語を書かせる。

回	授業計画及び学習の内容
1	アルゴリズムとは、流れ図とは、基本制御構造
2	変数と定数、擬似言語（順次）
3	擬似言語（分岐）、カウンタ、分岐を使った繰り返し
4	擬似言語（繰り返し）
5	関数
6	集計、中間試験対策
7	中間試験
8	二重ループ
9	複合条件、一次元配列
10	二次元配列
11	探索処理（線形探索法、二分探索法）
12	整列処理①（基本選択法）
13	整列処理②（基本交換法、基本挿入法）
14	まとめ、期末試験対策
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	70%	20%		10%		100%

（補足）
・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

大手化学系メーカーで社内SEを経験後、独立系Silerでシステム開発経験有

【教科書・参考文献】

擬似言語で学ぶアルゴリズム（インフォテックサーブ）

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース		2023年		1年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 必修	講義	アルゴリズムⅢ		成田 与志子	無	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

アルゴリズムとデータ構造の基礎理論習得を目指す。
また、基本情報技術者試験で用いられる擬似言語の読み方を習得する。

【講義概要】

授業プリントを配布しながら講義を進める。
演習問題を実際に解きながら理解を深める。

回	授業計画及び学習の内容
1	擬似言語の読み方1
2	擬似言語の読み方2
3	基数変換
4	論理演算（ビット演算）
5	加算器
6	再帰処理
7	中間試験
8	リスト構造
9	木構造、ヒープ
10	スタック、キュー、逆ポーランド
11	文字列処理1
12	文字列処理2
13	様々なソート処理
14	マージソート
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	70%		20%	10%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

基本情報技術者 科目B対策(インフォテックサーブ)

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース		2023年		1年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 必修	講義	ネットワーク I		石川 章	無	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

- ・通信回線の基礎技術からイーサネット技術までを習得する。
- ・基本情報技術者試験におけるネットワークの設問に対応出来る知識を習得する。

【講義概要】

- ・教科書をベースに各項目について説明する。
- ・演習問題による知識の確認を行う。

回	授業計画及び学習の内容
1	ネットワークの歴史と基礎知識
2	ネットワークの種類1：ネットワークの分類、電話網
3	ネットワークの種類2：パケット交換網、携帯電話網
4	ブロードバンド：ADSL、FTTH、CATV
5	データ伝送の実際：文字データ形式、伝送方式、誤り制御
6	前半の補足と復習
7	中間試験
8	通信回線の計算：伝送時間及び回線速度の算出
9	アナログーデジタル変換：変換方法と特性、データ量の算出
10	マルチメディア：静止画、動画、音声の各ファイル形式、圧縮技術
11	イーサネット1：イーサネットによるデータ伝送方法
12	イーサネット2：イーサネット用通信機器
13	通信プロトコルとOSI参照モデル
14	後半の補足と復習
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	70%		30%			100%

- (補足)
- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
 - ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

ITワールド、演習問題集

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース	2023年		1年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 必修	講義	ネットワークⅡ	石川 章	無	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

- ・インターネット及びネットワークセキュリティ技術の習得。
- ・基本情報技術者試験におけるネットワークの設問に対応出来る知識の習得。

【講義概要】

- ・教科書をベースに各項目について説明する。
- ・演習問題による知識の確認を行う。

回	授業計画及び学習の内容
1	IPアドレス
2	TCP/IP (1)
3	TCP/IP (2)
4	サーバ (1)
5	サーバ (2)
6	通信回線の計算・認証
7	前半の復習と補足
8	中間試験
9	インターネット関連技術
10	暗号
11	セキュリティ技術・ファイアウォール
12	マルウェア・サイバー攻撃
13	無線LAN・IPv6
14	後半の復習と補足
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合	70%		30%			100%

- (補足)
- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
 - ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

ITワールド、演習問題集

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース	2023年		1年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 必修	講義	データベース	高嶋 知由	無	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

データベースとは、DBMSについて
関係データベースの設計、正規化、DBの操作、SQLの習得

【講義概要】

テキストの他、プロジェクトで図や写真を多用し理解度を深める。
毎回小テストを行い、確実な知識の習得を促す。

回	授業計画及び学習の内容
1	データベースとは 関係データベースの特徴
2	DBMS 排他制御、障害回復処理
3	表の定義 正規化
4	SQL CREATE文
5	SQL SELECT文 * DISTINCT
6	SQL SELECT文 WHERE 条件指定
7	中間試験
8	SQL SELECT文 集合関数 GROUP BY ORDER BY
9	SQL SELECT文 表の結合
10	SQL SELECT文 副問合せ
11	SQL SELECT文 相関問合せ
12	SQL その他のSQL文 JOIN GRANT
13	SQL 総合問題演習
14	DB 基本情報午後問題
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%	20%				100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

ITワールド（インフォテックサーブ）、基本情報過去問

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース	2023年		1年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 必修	講義	J検対策	坂東 佑一	有	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

受講者全員が、情報検定(J検)情報活用試験3級に合格することを目指す。

【講義概要】

J検の中で最も易しい3級の過去問演習を徹底的に行い、情報系分野の基礎知識を習得する。3級以上に合格で、授業・試験ともに免除とする。なお、昨年度は受講者全員(約80名)が3級合格を果たした。

回	授業計画及び学習の内容
1	イントロダクション
2	J検3級の過去問題演習
3	J検3級の過去問題演習
4	J検3級の過去問題演習
5	J検3級の過去問題演習
6	J検3級の過去問題演習
7	中間試験
8	J検3級の過去問題演習
9	J検3級の過去問題演習
10	J検3級の過去問題演習
11	J検3級の過去問題演習
12	J検3級の過去問題演習
13	J検3級の過去問題演習
14	J検3級の過去問題演習
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他()	合計
割合	100%					100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

慶應義塾大学理工学部情報工学科卒(学士)、東京大学大学院学際情報学府修了(修士)
NTT研究所(2013-2015)にてクラウド基盤に関する研究、慶應義塾ITC(2015-2020)にて勤務

【教科書・参考文献】

Web上で一般公開されているJ検の過去問題

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース		2023年		1年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 必修	講義	セキュリティ I		井元 和彦	無	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

情報セキュリティの概念、セキュリティ管理、脅威、攻撃手法、リスク分析、暗号技術、公開鍵基盤、さまざまなセキュリティ技術の基本を知る。

【講義概要】

各回のテーマについて解説を行った後、問題演習を行う。セキュリティはそれ単独では成り立たない。ネットワークなどの他のコンピュータ技術についても理解を深めてほしい。

回	授業計画及び学習の内容
1	情報セキュリティの概念
2	情報セキュリティ管理
3	情報セキュリティ諸規定、ISMS、情報セキュリティ組織・機関、セキュリティ評価基準
4	脅威、攻撃手法 その1
5	脅威、攻撃手法 その2
6	共通鍵暗号方式
7	中間試験
8	公開鍵暗号方式、ハイブリッド暗号方式
9	利用者認証、メッセージ認証
10	電子署名
11	デジタル証明書、認証局
12	人的セキュリティ対策、物理的セキュリティ対策
13	技術的セキュリティ対策
14	セキュリティ実装技術 プロトコル、ネットワーク・データベース・アプリケーションのセキュリティ
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合	80%	20%				100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

ITワールド (インフォテックサーブ)

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース	2023年		1年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 必修	実習	文書編集基礎	藤田 恵子	無	1.5単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

基本的な文字のローマ字入力ができるよう文字入力練習も行いつつ、Word機能や文字入力の基本を学び、ビジネス文書のルールや言葉遣い等含め課題作成を通して理解し、業務で必須の表作成と編集方法、箇条書きリスト機能、画像挿入と編集、図形挿入と編集活用、正しいビジネス文書作成編集能力を身に着けることで就職後の実務実践に役立つことを目指す。

【講義概要】

毎回配布プリントあり、テーマごとの課題を一斉指導解説の中で作成保存し印刷物で毎回提出した課題はA B C添削され返却されるので後日Aになるまで各自で復習や訂正をしながら間違いを正しく直して技能を身に着けます。

回	授業計画及び学習の内容
1	速度アップ用正しい最適文字入力、Word基本機能、文字書式設定(文字種類・サイズ・位置)、印刷と保存方法
2	文字書式設定(太字・斜体・囲み線・下線・ルビ・均等割付け)、ページ設定(ヘッダー編集、余白行数設定)
3	段落書式(左インデント・ぶら下げインデント・左揃えタブ)、文字の拡大縮小、均等割付け、行間変更
4	社外用・社内用ビジネス文書の作成1～2 (ビジネス用敬語活用) ページ罫線、ヘッダーフッター機能
5	社外用・社内用ビジネス文書の作成3～4 (ビジネス用敬語活用) ページ設定詳細設定、行間の変更方法
6	表作成の基本・編集(行列削除と挿入、セル結合、罫線の削除と鉛筆引き、表のプロパティ、行列の幅)
7	表作成・編集の練習(複数行幅を揃える、罫線の種類・太さ変更、表の中に表を作成、図形内に表作成)
8	ビジネス文書と画像挿入、画像の配置、画像サイズ変更、画像のコピー、画像の枠線、トリミング)
9	箇条書きリストの自動機能活用(行頭文字種類や位置の変更、番号変更、ぶら下げインデント位置)
10	箇条書きリストの練習と、文字スタイル書式の登録と活用、段落の網掛けと文字の網掛けの詳細設定
11	文書デザイン広告作成・地図作成(図形、ワードアート作成と編集) 図形のグループ化
12	アウトライン機能の活用、段組、ページ罫線、段区切り、ヘッダーフッターの自動日付表示、ページ番号
13	WORD内グラフ作成、EXCELグラフのインポート、PDF保存と印刷、差し込み印刷機能、WEB変換ほか
14	ここまでの総合まとめ練習課題1
15	ここまでの総合まとめ練習課題2

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他(出欠席・遅刻数)	合計
割合	70%			20%	10%	100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

実況出版60HWordエキスパート/無限大出版Word演習問題/MOS検定試験問題集/日本情報処理検定問題集3～1級

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース	2023年		1年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 必修	実習	表計算基礎 I	佐藤 薫	無	1.5 単位 30 時間

【授業の到達目標及びテーマ】

表計算の仕組みと特徴を理解し、データ入力から表作成、書式設定、四則演算や基本の関数、グラフ機能を実習して表計算の基礎を習得する。

【講義概要】

前半の機能の説明をよく聞き、課題（2～3問）を仕上げよう。不明点は積極的に質問して理解を深めよう。必須課題は必ず提出すること。プリント等の応用問題、小テストあり。

回	授業計画及び学習の内容
1	Excelの画面構成、基本用語、データ入力、保存、課題の提出方法
2	四則演算、合計（関数）、簡単なグラフ、印刷設定、連続データの入力
3	表の編集機能、表示形式の変更、文字位置、平均（関数）
4	データ入力の便利な方法、罫線、セルのスタイル
5	セル参照の使い分け、文字属性の変更
6	最大・最小（関数）、データのカウンント（関数）
7	セルとワークシートの保護、数値の端数処理（関数）
8	条件判定（関数）、関数のネスト
9	総合問題①（作表、書式設定、関数）
10	条件付き書式、スパークライン
11	グラフの作成と編集
12	データベース機能、並べ替え、テーブル
13	総合問題②（条件付き書式、グラフ、データベース）
14	まとめ
15	まとめ

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%	10%		10%		100%

（補足）
・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

30時間でマスターExcel2019（実況出版）

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース	2023年		1年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 必修	実習	表計算基礎Ⅱ	佐藤 薫	無	1.5単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

計、検索、文字列操作などの応用関数、ピボットテーブルやグラフを利用した分析や集計機能、作業の自動化（マクロ）を実習し、Excelデータを活用するスキルを習得する

【講義概要】

実習課題を4～5問作成する。機能の概要や操作説明をよく聞き、理解した上で実習を仕上げる。必須課題は必ず提出し、修正課題も再提出すること(80%以上必須)。

回	授業計画及び学習の内容
1	表作成と数式と基本の関数の確認、複合グラフの活用
2	ユーザー定義の表示形式の利用、統計関数、端数処理の関数
3	文字列操作関数、日付時刻の関数、シリアル値の扱い
4	検索行列関数
5	条件判定の関数、関数のネスト
6	入力規則、総合練習問題
7	データベース関数、名前の活用
8	集計、統合、複数シートの活用
9	データベース、ピボットテーブル、大きなデータを扱うための機能
10	ピボットグラフ、ピボットテーブルの活用（スライサー、タイムライン）
11	グラフ機能を利用した分析（ABC分析、単回帰分析）
12	実践データ処理（関数の複合的利用、セルの保護、作業グループ、グラフによる分析）
13	マクロの基礎（作成、編集、実行、ボタンへの割り当て、VBAとは）
14	総合演習
15	まとめ

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	60%	10%		30%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

30時間アカデミック 情報活用 Excel2019 (実教出版)

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース		2023年		1年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 必修	講義	経営		古郡 聡	有	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

IT社会を支えている情報システムを中心とした戦略について、経営戦略と企業について学ぶ。また、基本情報技術者試験のマネジメント分野、ストラテジ分野の対策も兼ね、基本情報技術者試験の合格を目指す。

【講義概要】

毎回要点のまとめを実施し、確実な知識の習得を促す

回	授業計画及び学習の内容
1	企業活動の目的
2	企業会計
3	オペレーションズリサーチ(1)
4	オペレーションズリサーチ(2)
5	経営工学・品質管理
6	法務と標準化
7	中間試験
8	経営戦略マネジメント(1)
9	経営戦略マネジメント(2)
10	技術戦略マネジメント・ビジネスインダストリ
11	e-ビジネス
12	情報システム戦略
13	情報システム企画
14	開発技術
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他()	合計
割合	70%	10%		20%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

教育機関にて学内のシステム開発業務に従事

【教科書・参考文献】

IT戦略とマネジメント (インフォテック・サーブ)

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース		2023年		1年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 必修	講義	基本情報対策 I		坂東 佑一	有	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

基本情報処理技術者試験の科目A試験で合格点を取得するための知識、技術を身につける。
12月の免除試験終了後は科目B(午後)対策の内容を勉強する。

【講義概要】

基本情報技術者試験の科目A問題分野について、演習・解説を繰り返し行う。
計算問題や仕組みは理解すること、用語問題はキーワードを覚えることを中心とする。

回	授業計画及び学習の内容	
1	基礎理論	基数変換
2	基礎理論	論理演算・論理回路
3	基礎理論	アルゴリズム
4	ハードウェア	CPU
5	ハードウェア	磁気ディスク
6	ソフトウェア	タスク管理
7	中間試験	
8	ネットワーク	インターネット
9	ネットワーク	セキュリティ
10	午前免除試験直前練習	
11	科目B対策：アルゴリズム1	
12	科目B対策：アルゴリズム2	
13	科目B対策：アルゴリズム3	
14	科目B対策：アルゴリズム4	
15	科目B対策：アルゴリズム5	

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他()	合計
割合	80%			20%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

慶應義塾大学理工学部情報工学科卒(学士)、東京大学大学院学際情報学府修了(修士)
NTT研究所(2013-2015)にてクラウド基盤に関する研究、慶應義塾ITC(2015-2020)にて勤務

【教科書・参考文献】

基本情報過去問題集

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース	2023年		1年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 必修	講義	基本情報対策Ⅱ	坂東 佑一	有	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

基本情報処理技術者試験の科目A試験で合格点を取得するための知識、技術を身につける。

【講義概要】

基本情報技術者試験の科目A問題分野について、演習・解説を繰り返し行う。
計算問題や仕組みは理解すること、用語問題はキーワードを覚えることを中心とする。

回	授業計画及び学習の内容	
1	基礎理論	基数変換
2	基礎理論	論理演算・論理回路
3	基礎理論	アルゴリズム
4	ハードウェア	CPU
5	ハードウェア	磁気ディスク
6	ソフトウェア	タスク管理
7	中間試験	
8	ネットワーク	インターネット
9	ネットワーク	セキュリティ
10	保守と運用	稼働率
11	データベース	SQL
12	システム開発	開発手法 テスト
13	データベース	正規化 E-R図
14	総合問題演習	
15	期末試験	

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合	100%					100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

慶應義塾大学理工学部情報工学科卒(学士)、東京大学大学院学際情報学府修了(修士)
NTT研究所(2013-2015)にてクラウド基盤に関する研究、慶應義塾ITC(2015-2020)にて勤務

【教科書・参考文献】

基本情報科目B問題集

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース	2023年		1年 通年
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 選択	講義	セキュリティマネジメント対策Ⅰ	外部企業より派遣	無	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

国家試験 情報セキュリティマネジメント の試験対策講座。
原則として本試験の受験をすることを受講条件とする。

【講義概要】

半期に一度集中講義の形で開講。
社会人向けに資格対策講座を実施している教育ベンダと提携し、講師を派遣してもらい講義を行う。

回	授業計画及び学習の内容
1	
2	① 「情報セキュリティマネジメント試験の概要」
3	・ 出題傾向と学習方法
4	② 「情報セキュリティ全般」
5	・ 情報セキュリティの概念、マルウェア、パスワードの不正入手/不正利用
6	③ 「情報セキュリティ全般」
7	・ Webサイト利用者への攻撃、サービスの妨害/悪用、人的脅威/物理的脅威/その他の脅威
8	④ 「情報セキュリティ全般」
9	・ 暗号化技術/認証技術、デジタル署名
10	⑤ 「情報セキュリティ対策」
11	・ マルウェア対策、不正アクセス対策
12	⑥ 「情報セキュリティ対策」
13	・ ネットワークセキュリティ、情報漏えい対策、その他のセキュリティ対策
14	⑦ 「情報セキュリティ管理」
15	・ 情報セキュリティマネジメント、ISMS、リスクマネジメント
	⑧ 「情報セキュリティ管理」
	・ 情報セキュリティインシデント管理
	⑨ 「情報セキュリティ関連法規」
	・ 情報セキュリティ関連法規

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合				100%		100%

(補足) ・ 成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・ 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

情報セキュリティマネジメント対策(インフォテックサーブ)

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース		2023年		1年 通年
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 選択	講義	セキュリティマネジメント対策Ⅱ		外部企業より派遣	無	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

国家試験 情報セキュリティマネジメント の試験対策講座。
原則として本試験の受験をすることを受講条件とする。

【講義概要】

半期に一度集中講義の形で開講。
社会人向けに資格対策講座を実施している教育ベンダと提携し、講師を派遣してもらい講義を行う。
Iと同じ内容だが、I受講者で資格未取得者は再度受講ができる。

回	授業計画及び学習の内容
1	
2	①「情報セキュリティマネジメント試験の概要」
3	・出題傾向と学習方法
4	②「情報セキュリティ全般」
5	・情報セキュリティの概念、マルウェア、パスワードの不正入手/不正利用
6	③「情報セキュリティ全般」
7	・Webサイト利用者への攻撃、サービスの妨害/悪用、人的脅威/物理的脅威/その他の脅威
8	④「情報セキュリティ全般」
9	・暗号化技術/認証技術、デジタル署名
10	⑤「情報セキュリティ対策」
11	・マルウェア対策、不正アクセス対策
12	⑥「情報セキュリティ対策」
13	・ネットワークセキュリティ、情報漏えい対策、その他のセキュリティ対策
14	⑦「情報セキュリティ管理」
15	・情報セキュリティマネジメント、ISMS、リスクマネジメント
	⑧「情報セキュリティ管理」
	・情報セキュリティインシデント管理
	⑨「情報セキュリティ関連法規」
	・情報セキュリティ関連法規

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合				100%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

情報セキュリティマネジメント対策(インフォテックサーブ)

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース		2023年		1年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 選択	実習	MOS対策 I		坂本 知美	有	1単位 20時間

【授業の到達目標及びテーマ】

マイクロソフトMOS資格の対策講座。
原則として資格試験の受験を目指すことを受講条件とする。

【講義概要】

模擬試験ソフトを使用し、繰り返し練習を行う

回	授業計画及び学習の内容
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	模擬問題ソフトを繰り返し練習し、ランダム出題で80%以上の点数取得を目指す。
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合				100%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

- 独立系IT企業の組込み事業部にて、SE・PGとしてソフトウェア開発業務に従事。
- カーオーディオのマイコン制御処理や、他機器との通信処理の開発業務を行った。
- スマートフォンのアプリ開発や、他機器との通信処理の開発業務を行った。

【教科書・参考文献】

FOM出版。MOS模擬問題集

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース	2023年		1年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 選択	実習	MOS対策Ⅱ	坂本 知美	有	1単位 20時間

【授業の到達目標及びテーマ】

マイクロソフトMOS資格の対策講座。
原則として資格試験の受験を目指すことを受講条件とする。

【講義概要】

模擬試験ソフトを使用し、繰り返し練習を行う

回	授業計画及び学習の内容
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	模擬問題ソフトを繰り返し練習し、ランダム出題で80%以上の点数取得を目指す。
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合				100%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

- 独立系IT企業の組込み事業部にて、SE・PGとしてソフトウェア開発業務に従事。
 ・カーオーディオのマイコン制御処理や、他機器との通信処理の開発業務を行った。
 ・スマートフォンのアプリ開発や、他機器との通信処理の開発業務を行った。

【教科書・参考文献】

FOM出版。MOS模擬問題集

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース	2023年		1年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 必修	講義	基礎学力I	佐々木 一仁	無	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

- ①就職試験対策として必要な基礎学力を身に付ける
- ②現実の状況を日頃から理解し、就職活動をする意欲をもたせる

【講義概要】

- ①日本語の基礎知識
- ②数学の基礎計算
- ③SPI試験対策など

回	授業計画及び学習の内容
1	授業方針・就職状況・その他 計算問題（100マス計算など）
2	計算問題（分数・小数・混合） SPI対策問題
3	計算問題（分数・小数・混合四則演算・法則性） SPI対策問題
4	計算問題（分数・小数・混合四則演算・法則性） 日本語の基礎知識（漢字の読み書き）
5	日本語の基礎知識（漢字の読み書き・四字熟語） SPI対策問題
6	日本語の基礎知識（四字熟語） SPI対策問題 これまでの復習
7	中間試験
8	図形問題（角度）
9	図形問題（面積） 計算問題（暗算）
10	一次方程式・不等式 SPI対策問題
11	連立方程式・不等式 SPI対策問題
12	方程式を利用した文章問題（つるかめ算） 日本語の基礎知識（漢字の読み書き）
13	方程式を利用した文章問題（整数・年齢算） SPI対策問題
14	方程式を利用した文章問題 日本語の基礎知識 SPI対策問題 これまでの復習
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%	10%		10%		100%

- (補足)
- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
 - ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

BASIC SCHOLASTIC ABILITY-試験対策に役立つ数理分野(ウイネット)

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース	2023年		1年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 必修	講義	基礎学力Ⅱ	佐々木 一仁	無	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

①就職試験（SPIなど）対策として必要な基礎学力を身に付ける ②現在の状況を日頃から理解し、就職活動をする意欲をもたせる

【講義概要】

①日本語の基礎知識 ②数学の基礎計算 ③SPI試験対策など

回	授業計画及び学習の内容
1	日本語の基礎知識No.1、数学の基礎計算P.128～133、文章問題(仕事算)
2	日本語の基礎知識No.2、数学の基礎計算P.134～139、文章問題(割合算)
3	日本語の基礎知識No.3、数学の基礎計算P.140～145、文章問題(定価算)
4	日本語の基礎知識No.4、数学の基礎計算P.146～151、文章問題(速度算)
5	日本語の基礎知識No.5、数学の基礎計算P.152～157、文章問題(流水算)
6	日本語の基礎知識番外編、数学の基礎計算P.158～165、文章問題(通過算)
7	中間考査
8	日本語の基礎知識No.6、数学の基礎計算P.166～171、式の展開
9	日本語の基礎知識No.7、数学の基礎計算P.172～177、因数分解(1)
10	日本語の基礎知識No.8、数学の基礎計算P.178～183、因数分解(2)
11	日本語の基礎知識No.9、数学の基礎計算P.184～189、平方根
12	日本語の基礎知識No.10、数学の基礎計算P.190～195、二次方程式
13	日本語の基礎知識No.11、数学の基礎計算P.196～201、n進法
14	日本語の基礎知識No.12、数学の基礎計算P.202～209、集合
15	期末考査

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他()	合計
割合	80%	10%		10%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース	2023年		1年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 必修	講義	基礎英語 I	茂木康有 Tope Salami	有	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

- 英語の苦手意識をなくし、とにかく英語が好きになる。
- 英語が母語の同僚や顧客にも英語で対応できるようPythonプログラミングを英語で学ぶ。

【講義概要】

90分授業を前半と後半に分け、前半は日本人講師による英語の訳し方、伝え方、パイソン用語などを日本語で解説。後半は、英語母語の講師により実際にパソコンを使ったPythonプログラミング実習を英語で行う。

回	授業計画及び学習の内容
1	自己紹介、英語の訳し方、伝え方、このクラスの目標
2	Words and sentences
3	Terminology
4	Writing a program
5	What could possibly go wrong?
6	Variables
7	Variable names and key words
8	Statements
9	Operators and operands
10	Expressions
11	Order of operations
12	Modulus operator
13	String operations
14	Asking the user for input
15	Comments

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合	100%					100%

- (補足)
- 成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
 - 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
 - 難問により平均点が低ければ出席率を加点考慮対象とする

【教員紹介】

茂木康有 (Steve Mogi) : アメリカ、ドイツ、オーストラリア企業に約20年勤務ののち2010年ICT教育研修研究所を設立。現在は各種英語科目を専門学校等へ提供。また、コミュニケーション関連研修を各種企業へ提供。Tope Salami : IT関連会社運営、カナダ、サウジアラビア、日本で合計9年の英語関連、Pythonプログラミング関連の実務経験。生徒が授業に積極的に参加する雰囲気作りに情熱を注いでいる。

【教科書・参考文献】

Trinket - Python Book

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース	2023年		1年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 必修	講義	就職対策Ⅰ	石井 眞木子	無	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

グループディスカッション、グループワークを通して自分自身を理解し他者とのコミュニケーションを学ぶ。就職活動の流れ、採用試験までの対応を体系立てて学習する。

【講義概要】

企業説明会から採用試験までの対応をキャリアコンサルタントとして解説し、ワークシートを使って自己分析を深める。また、発表会、スピーチなどを通して人前で話す経験を積む。

回	授業計画及び学習の内容
1	講義の説明、オリエンテーション、グループディスカッション（価値観のワーク）
2	就職活動の概要を把握、就職活動の全体像、主なスケジュールなどの説明
3	働くことの意味、社会人との違いの理解
4	グループディスカッションの進め方を学ぶ その1 実習「ボランティア」
5	グループディスカッションの進め方を学ぶ その2 実習「GUAKOボム」
6	お金の話（給与+残業代）
7	中間試験
8	ソフトウェア業界の理解、業界の構成、SEの業務内容
9	ワークシートを使って自己分析をする その1 パーソナリティ、長所と短所
10	ワークシートを使って自己分析をする その2 心の4つの窓「ジョハリの窓」
11	ワークシートを使って自己分析をする その3 学生時代にがんばったこと
12	ワークシートを使って自己分析をする その4 挫折経験、キャリアプラン、将来の夢
13	企業の採用に対する考え方などについての知識の理解とグループワークによる実践
14	交流分析 その1 エゴグラムによる自己の行動の特徴の理解と今後の行動変容の認識
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	75%		15%	10%		100%

- (補足)
- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
 - ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

担任業務の学生の生活指導、就職支援のために研鑽を積み産業カウンセラー、国家資格のキャリアコンサルタントの資格を取得し、学生のキャリア支援に勤しむ。

【教科書・参考文献】

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース	2023年		1年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 必修	講義	就職対策Ⅱ	石井 眞木子	無	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

就職活動の流れからソフトウェア業界の説明・会社訪問・採用試験などについてキャリアコンサルタントの視点から解説し、来年度の就活がスムーズに行えるように履歴書、自己PR、採用面接の準備を行う。

【講義概要】

就職対策Ⅰで行った自己分析をもとに、より自己理解を深め履歴書・ESを作成する。さらに、面説練習、様々なロールプレイングによってビジネスマナーを体験しスムーズに就職活動をするための基礎力を養う。

回	授業計画及び学習の内容
1	就職対策Ⅱの講義についての説明、就活のスケジュールについての復習、履歴書の作成についての説明
2	履歴書を書き始める 「PREP法」を理解する
3	自己PRを記述し、グループワークによってお互いに自己PRを深める。
4	学生時代に頑張ったことを記述し、グループワークによってお互いに自己PRを深める。
5	採用試験（筆記・グループディスカッション・面接など）の説明。敬語、ビジネスマナーを理
6	採用試験の筆記試験について模擬試験問題を体験し、自分の得意不得意を理解する
7	中間試験
8	採用試験のWeb試験（CAB、GAB）について模擬試験問題を体験し、自分の得意不得意を理解する
9	採用試験の面接試験についての説明と面接試験のロールプレイングの準備を行う
10	面接試験のロールプレイング その1
11	面接試験のロールプレイング その2
12	企業求人理解 その1. 企業の求人票を確認する
13	企業求人理解 その2. 会社の特性の見方と自分に合った会社選びの基準を理解する
14	内定、試用期間と懲戒についての説明と内定後のスケジュール等を理解する
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	75%		15%	10%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

担任業務の学生の生活指導、就職支援のために研鑽を積み産業カウンセラー、国家資格のキャリアコンサルタントの資格を取得し、学生のキャリア支援に勤しむ。

【教科書・参考文献】

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース	2023年		1年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 必修	講義	ビジネスマナー	今村 朋子	有	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

就職活動に役立ち、且つ社会人としても通用するビジネスマナーを身につける。
併せて良好な人間関係を築くためのコミュニケーションの方法、日常生活での基本的なマナーの見直しを行う。

【講義概要】

授業は講義と参加型の実習を取り入れ、主体的に発信する力を伸ばし、共感的に受信する力を広げることを目標とする。

回	授業計画及び学習の内容
1	なぜ「ビジネスマナー」が必要なのか 今後の就職活動を踏まえ、社会人となる自己認識を高める 返事と挨拶、礼節としての「お辞儀」 学生と社会人の違い 守秘義務 コンプライアンス
2	「身だしなみ」について 第一印象の形成、重要性 初対面での注意点
3	ビジネスマナーの基本 「人間関係」の大切さ 的確な報告、連絡、相談の方法
4	コミュニケーションの重要性 「聞くこと」「話すこと」の正しい姿勢、「よい話し方」の基本
5	敬語① 正確な敬語を使いこなす T. P. Oに合わせた言葉遣い
6	敬語② 接遇用語・接遇のマナー 「ホスピタリティ」と「サービス」
7	中間試験
8	電話の対応① 電話対応の注意点 「受け方」の基本 苦情電話、間違い電話などへの対応
9	電話の対応② 電話対応の注意点 「掛け方」の基本 伝言メモの作成
10	訪問のマナー 名刺の取り扱いかた 名刺交換の手順 紹介の仕方
11	応接のマナー お茶の出し方 席次のルール 応接室、車、乗り物の席次
12	交際のマナー① 慶事・弔事における決まりごと パーティでのマナー
13	交際のマナー② お中元、お歳暮 賀寿、お礼状など 交際のルール
14	総復習 「仕事の穴」に落ちないために 「人としての魅力」で、仕事の結果につなげよう
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合	80%			20%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

都内専門学校勤務を経て、大手メーカー研修事業部、大学・短大オープンカレッジ、男女共同参画センター等でビジネスマナー、秘書検定講師を務める。著作：「わかる! 秘書検定 2級・3級 テキスト&問題集」日本経済新聞出版社

【教科書・参考文献】

「社会でいきる 実践ビジネスマナー」

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース		2023年		1年 通年
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 必修	実習	体育実習 I		情報処理科担当教員	無	3単位 60時間

【授業の到達目標及びテーマ】

運動や、課外活動、学園祭を通して、健全な身体と精神を育む。
ハイキングは、自然の多い公園などをおおむね 4時間程度歩き、心身のバランスを図ります。
学園祭は、各種催し物の企画、準備、実施、参加により、協調性を養います。
心身の健全な育成を目指しています。

【講義概要】

この授業は、春と秋のハイキング、学園祭（準備2日間、学園祭2日間）の参加を以て、評価します。

回	授業計画及び学習の内容
1	
2	春のハイキング
3	
4	
5	学園祭準備（1日目、2日目）
6	
7	
8	学園祭（1日目）
9	
10	
11	学園祭（2日目）、後片付け
12	
13	
14	秋のハイキング
15	

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（出席と取り組む姿勢）	合計
割合					100%	100%

（補足）
・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース		2023年		2年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	モバイルアプリケーション開発		仲 智弘	有	3単位 60時間

【授業の到達目標及びテーマ】

Androidでの実践的なプログラミング技術の習得

【講義概要】

Androidアプリ制作

回	授業計画及び学習の内容
1	開発環境構築、Android Studioについて、Hello World アプリ作成
2	イベントドリブン
3	ListView、ダイアログ
4	ConstraintLayout
5	画面遷移、Intent
6	オプションメニュー、コンテキストメニュー
7	データベースアクセス
8	データベースアクセス
9	非同期処理
10	メディア再生
11	バックグラウンド処理、通知機能
12	地図アプリとの連携
13	カメラアプリとの連携
14	マテリアルデザイン
15	リサイクラービュー

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合	60%			40%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

独立系IT企業にてSE・PGとしてソフトウェア開発業務に従事。

【教科書・参考文献】

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース		2023年		2年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	プログラミング演習(Java/C)		成田 与志子	無	3単位 60時間

【授業の到達目標及びテーマ】

java、C言語を通して、プログラミングを学習する。

【講義概要】

javaではフレームの扱いを学ぶ。C言語は基本的な文法を一通り履修する。

回	授業計画及び学習の内容
1	java フレームの作成 レイアウト、JButtonの処理
2	java フレームの作成 マウスの処理
3	java コレクション
4	java スレッド
5	java まとめ
6	C言語のプログラムの書き方。入出力、くり返し、変数の型など
7	基礎文法(if文、for文、while文、配列、入出力)。倍精度整数型の扱い。
8	文字と文字列の違い。文字列の入出力、配列の初期化。¥0の意味。
9	2次元整数型配列、2次元文字型配列の構造と扱い。初期化。
10	関数の作成。引数の型、個数、値渡しについて。
11	関数のつづき。戻り値。
12	ポインタ。
13	ポインタと関数。
14	テキストファイルの入出力。
15	C言語 まとめ

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他()	合計
割合	80%			20%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

新C言語入門 シニア編 ソフトバンククリエイティブ

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース		2023年		2年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	講義	C言語文法		成田 与志子	無	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

C言語の基礎を習得する。

【講義概要】

Javaを履修済みの学生を対象に、C言語の基本文法を解説する。
Javaや他のプログラミング言語との共通点や相違点等についても説明を行う。

回	授業計画及び学習の内容
1	前期C言語の復習
2	ファイルI/O / ファイル操作 詳細
3	配列とポインタ 配列とポインタ
4	配列とポインタ 文字列処理関数
5	配列とポインタ 文字種テスト関数
6	動的配列 アロケーション関数
7	中間試験
8	動的配列 ヒープ / 値渡しとアドレス渡し
9	関数ポインタ
10	構造体 構造体 / typedef / 構造体と関数
11	構造体 構造体ポインタ
12	その他文法 自己参照構造体 / マクロ
13	その他文法 標準入力 / プリプロセッサ
14	期末試験対策
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合	80%			20%		100%

- (補足)
- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
 - ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース		2023年		2年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	C言語演習 I		成田 与志子	無	3単位 60時間

【授業の到達目標及びテーマ】

C言語の基礎を習得する。
文法で学習したことを演習でさらに理解度を深める。

【講義概要】

Javaを履修済みの学生を対象に、C言語の基本文法を解説する。
Javaや他のプログラミング言語との共通点や相違点等についても説明を行う。

回	授業計画及び学習の内容
1	前期C言語の復習
2	ファイルI/O / ファイル操作 詳細
3	配列とポインタ 配列とポインタ
4	配列とポインタ 文字列処理関数
5	配列とポインタ 文字種テスト関数
6	動的配列 アロケーション関数
7	総合演習
8	動的配列 ヒープ / 値渡しとアドレス渡し
9	関数ポインタ
10	構造体 構造体 / typedef / 構造体と関数
11	構造体 構造体ポインタ
12	その他文法 自己参照構造体 / マクロ
13	その他文法 標準入力 / プリプロセッサ
14	期末試験対策
15	総合演習

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合	80%			20%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース		2023年		2年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	C言語演習Ⅱ		砂賀 勝己	無	3単位 60時間

【授業の到達目標及びテーマ】

C++言語の基礎を習得する。演習を行うことでさらに理解度を深める。

【講義概要】

Java/C言語を履修済みの学生を対象に、C++言語の基本文法を解説する。

回	授業計画及び学習の内容
1	C言語の復習
2	C++基礎. C言語との違いなど
3	I/Oストリーム
4	マニピュレータ
5	バイナリファイルの取り扱い
6	クラス基礎 オーバーロード / クラス
7	総合演習1
8	クラス基礎 継承 / オーバーライド
9	コンストラクタ
10	テンプレート / 仮想関数
11	抽象クラス / インターフェース
12	オペレータオーバーロード
13	再帰
14	その他文法
15	総合演習2

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合	80%			20%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース		2023年		2年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	講義	データサイエンス/AI基礎		吉田 雅裕	有	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

情報社会が抱える諸問題を多角的に分析・解明した上で、その問題の解決策を論理的に構築するために有用なデータマイニングの基礎技術の習得を目指す。実社会のビッグデータを対象に、データクレンジングの方法やAIの適用方法を学習し、データマイニングによって得られる結果を正しく理解するための論理的思考力を身に着ける。例として、身近な医療や保健のデータ、電子メールのデータ、スーパーマーケットの商品販売履歴などのデータを学習に利用する。日ごろ直感的に感じていることと、データマイニングでわかることを比較し、データマイニングに関するより深い理解を得る。

Pythonを使って、実際にデータマイニングを行うための具体的な方法論を習得する。Pythonを使って実際のビッグデータに対して基礎的な分析ができるようになる。データ分析結果の正しさを判断し、データサイエンスで論理的な主張を行えるようになる。

【講義概要】

膨大な非構造化データ、いわゆるビッグデータから、何らかの知見を導き出すデータマイニングについて学修する。関連規則、決定木、クラスタ分析、回帰分析、自己組織化マップ、ニューラルネットなどについて学び、ツールを用いることによっていわゆるAI（弱いAI）を活用することができる水準の技術を獲得する。機械学習についても、教師あり学習、教師なし学習、強化学習の特徴を把握し、自らが行う問題解決に際して、適切な方法を選択できる力量を養う。本講義では、プログラミング言語『Python』を用いたデータマイニングを行う。演習を中心とした授業内容により、データマイニングとAIの基礎技術を学習する。

回 授業計画及び学習の内容

1	イントロダクション
2	Pythonプログラミング
3	データ収集
4	データ前処理
5	確率統計
6	統計的検定
7	A/Bテスト
8	アルゴリズム
9	回帰
10	分類
11	クラスタリング
12	レコメンド
13	時系列分析、自然言語処理
14	画像分析
15	データ分析コンペ

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合			100%			100%

- (補足)
- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
 - ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

1985年生まれ。山口県出身。東京大学大学院博士課程修了。博士(学際情報学)。日本学術振興会特別研究員を経て、2013年に日本電信電話株式会社に入社。5Gと自動運転に関する研究開発を経て、現在、中央大学国際情報学部准教授。コンピュータネットワークとAIに関する研究教育活動に従事。

【教科書・参考文献】

吉田雅裕, 『Pythonで学ぶはじめてのデータサイエンス』, 技術評論社, 2023

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース		2023年		2年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	データベース演習 I		成田 与志子	無	3単位 60時間

【授業の到達目標及びテーマ】

データベースの授業で学んだSQLを実際に演習で確認する。

【講義概要】

SQL文を作成実行できるアプリケーションを利用して演習する。

回	授業計画及び学習の内容
1	データベースの作成。テーブルの作成
2	SELECT WHERE句 IN, BETWEEN, LIKE, AND, OR, NOT > < = ワイルドカード
3	集計関数 COUNT(), SUM(), MAX(), MIN(), AVG()。別名 AS。算術演算子 + - * /
4	並べ替え ORDER BY, DESC, ASC。グルーピング GROUP BY, HAVING
5	ここまでの復習。where と having の使い分け。テーブルの作成 CREATE, INSERT, DROP
6	等結合、外部結合（左結合、右結合）。INNER JOIN, LEFT JOIN, RIGHT JOIN, ON
7	デカルト積。左結合と内部結合の使い分け。自己結合。日付時刻型の扱い。エイリアス。
8	結合の復習
9	サブクエリ。単一行問合せ、複数行問合せ。ANY, ALL
10	相関がないときのサブクエリ 1
11	相関がないときのサブクエリ 2
12	サブクエリと結合の使い分け。is null, is not null の扱い。
13	相関がないとき、相関があるときのサブクエリ。EXISTS, NOT EXISTS演算子の使い方
14	テーブルの挿入 & 更新 & 削除。INSERT, DELETE, UPDATE, DROP TABLE
15	まとめ

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%			20%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

教科書 なし、 参考文献 「スッキリわかるSQL入門」 中山清喬/飯田理恵子著

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース		2023年		2年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	データベース演習Ⅱ		成田 与志子	無	3単位 60時間

【授業の到達目標及びテーマ】

小規模のデータベースを作りながら段取りや手順、操作を覚える。

【講義概要】

javaでDBを扱う。そのあと、MicroSoftのAccessで小さなシステムを作成する。

回	授業計画及び学習の内容	
1	JavaDBを使うための準備。データベースの作成。テーブルの作成	
2	JavaDBにアクセスするプログラムの作成	
3	フレームのComboボックス、テキストボックスにDBから読み込んだ内容を表示する	
4	Accessの使い方。テーブルの作成、クエリの作成、フォームの作成、レポートの作成	
5	蔵書管理のデータベースの作成	1
6	蔵書管理のデータベースの作成	2
7	蔵書管理のデータベースの作成	3 AccessVBA
8	蔵書管理のデータベースの作成	4 AccessVBA
9	住所録のデータベースの作成	1 AccessVBA
10	住所録のデータベースの作成	2 AccessVBA
11	在庫管理のデータベースの作成	1 AccessVBA
12	在庫管理のデータベースの作成	2 AccessVBA
13	在庫管理のデータベースの作成	3 AccessVBA
14	在庫管理のデータベースの作成	4 AccessVBA
15	まとめ	

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合	100%					100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

教科書 なし、 参考文献 「スッキリわかるSQL入門」 中山清喬／飯田理恵子著

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース		2023年		2年 通年
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 選択	実習	CCNA I		平塚 悠生	無	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

コンピュータネットワークが繋がる理由、仕組みと基本的なネットワーク機器の設定を習得する。

【講義概要】

ネットワークが繋がる仕組みを、OSI参照モデルをベースにして各階層ごとに働くプロトコルとその連携を知ること学ぶ。

回	授業計画及び学習の内容
1	コンピュータネットワークとは
2	ルータの基本操作
3	ルーティングの仕組みとスタティックルート
4	ルータのIFにIPアドレスを設定する
5	IPとICMP、pingとtraceroute
6	ここまでの復習
7	中間試験
8	IPアドレスの概要
9	エンドデバイスの設定
10	LANとは、Ethernet概要
11	仮想端末接続
12	ダイナミックルートとは
13	RIPの設定
14	ここまでの復習
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	50%			50%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース		2023年		2年 通年
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 選択	実習	CCNA II		平塚 悠生	無	1.5単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

コンピュータネットワークが繋がる理由、仕組みと基本的なネットワーク機器の設定を習得する。

【講義概要】

ネットワークが繋がる仕組みを踏まえて、シミュレーションソフトを利用してネットワークの構築演習を行う。

回	授業計画及び学習の内容
1	データ分割とカプセル化, トランスポート層について
2	スイッチとハブの動作の違い, MACアドレスについて
3	MACアドレステーブル作成方法, スwitchの基本設定演習
4	ポートセキュリティ概要, 設定演習
5	ACL概要と設定演習
6	ここまでの復習
7	中間試験
8	ACL設定演習, NAT概要
9	NAT設定演習
10	ルータに名前を付ける, バナーメッセージを設定する, 設定の削除
11	ルーティングテーブルの閲覧
12	ルータのIFに設定を施す, 疎通確認
13	ルータに施された設定の確認
14	ここまでの復習
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合	50%			50%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース		2023年		2年 通年
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 選択	実習	CCNAⅢ		平塚 悠生	無	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

コンピュータネットワークが繋がる理由、仕組みと基本的なネットワーク機器の設定を習得する。

【講義概要】

ネットワークが繋がる仕組みを踏まえて、シミュレーションソフトを利用してネットワークの構築演習を行う。

回	授業計画及び学習の内容
1	エンドデバイスに必要な設定を施す
2	デバイスの接続演習
3	仮想端末接続のための設定
4	スタティックルートの設定
5	ダイナミックルートRIPの設定
6	ここまでの復習
7	中間試験
8	スイッチがたくさん存在するトポロジの作成
9	スパンニングツリープロトコル発動トポロジの作成と状態の確認
10	VLANとは
11	アクセスポートとトランク接続とは
12	VLAN間接続のやり方について
13	VLAN導入によるセキュリティ向上について
14	ここまでの復習
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	50%			50%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース		2023年		2年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 選択	実習	サーバ構築		砂賀 勝己	無	1.5単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

社会ではとても多くのWindowsマシンが使われており、それをセキュアな状態に保つ、管理を行うためのスキルはとても重要である。本講座ではそのための基礎知識となるWindowsクライアント/サーバのセキュリティ設定に関する手法を取得することを目的とする。

【講義概要】

Windowサーバ/クライアント環境におけるセキュアなシステム構築の手法について学習する

回	授業計画及び学習の内容
1	Windowsドメイン、ワークグループ、Active Directory
2	ユーザとグループ概要、ローカルとドメインでの違いなど
3	ドメインでのグループと組織単位の管理
4	NTFSアクセス権
5	共有アクセス権
6	共有フォルダの管理
7	グループポリシー1
8	グループポリシー2
9	グループポリシー3
10	EFS(暗号化ファイルシステム)、リモートでの管理
11	イベントログ、監査1
12	監査2
13	監査3
14	実技試験1
15	実技試験2

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他()	合計
割合	80%			20%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース		2023年		2年 通年
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	講義	AWS資格対策		砂賀 勝己	無	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

クラウドに関する基本的な用語、動作などを理解する。
AWS認定カリキュラム AWS Cloud Foundations(ACF)の内容を学習する。

【講義概要】

- ・クラウドの基本的な用語、動作などを学習する。
- ・AWS Cloud Practitioner , Solutions Architect資格対策の内容を取り入れる。
- ・Cloud Practitioner以上の取得で受講/定期試験免除

回	授業計画及び学習の内容
1	
2	
3	
4	○クラウドの基礎-基本用語など
5	○パブリッククラウド、AWS資格について
6	○受験するための準備/勉強法
7	○テーマ
8	1.1 クラウドのコンセプトの概要
9	1.2 クラウドエコノミクス
10	1.3 AWSインフラストラクチャーの概要
11	2.1 AWSの主要なサービス-コンピューティング
12	2.2 AWSの主要なサービス-ストレージ
13	2.3 AWSの主要なサービス-データベース
14	2.4 AWSの主要なサービス-その他
15	3.1 AWSクラウドのセキュリティ
	4.1 クラウドアーキテクチャの設計
	5.1 クラウドの請求とサポートサービス

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合				100%		100%

- (補足)
- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
 - ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース		2023年		2年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	講義	UML I		潮 達也	有	2単位 30時間
【授業の到達目標及びテーマ】						
到達目標はシステム開発の実践の場で要件定義、基本設計、詳細設計、プログラム設計等でUMLを活用できるようになること。テーマはAstah Professionalを使いシステム要件に応じたダイアグラムが作成出来るようになること						
【講義概要】						
実習科目であるのでAstah Professionalの統合環境を使いこなし、基本表記から応用した表記までオブジェクトをどう捉えどう表現するかが実践出来るようにポイントを捉えて、描けるように学習していきたい						
回	授業計画及び学習の内容					
1	UMLとは オブジェクト指向とは Astah professionalツールの使用法とダイアグラムの種類の説明					
2	ユースケース図 特徴 表記ルール アクターとユースケース オブジェクト間の関係					
3	ユースケース図 関連 包含 拡張 汎化 演習問題(基本問題					
4	ユースケース図 演習問題(応用問題 実践問題 解放の手引き					
5	オブジェクト図 特徴 表記ルール 属性 関係 インスタントとクラス					
6	オブジェクト図 特徴 表記ルール 属性 関係 インスタントとクラス					
7	中間試験					
8	クラス図 特徴 表記ルール 属性 操作 可視性 多重度 ロール クラスの関係					
9	クラス図 関連 複数関連 集約 依存 汎化 コンポジション 実現 抽象クラス					
10	クラス図 演習問題(基本問題 応用問題					
11	クラス図 演習問題(応用問題 実践問題					
12	シーケンス図 特徴 表記ルール 同期メッセージ 非同期メッセージ リプライメッセージ					
13	シーケンス図 ロストメッセージ ファウンドメッセージ 実行指定					
14	シーケンス図 演習問題(基本問題 応用問題 実践問題					
15	期末試験					
【成績評価方法】						
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合	60%/15%	10%	5%	10%		100%
(補足)	<ul style="list-style-type: none"> 成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 					
【教員紹介】						
独立系IT企業で、プロマネ、リーダー、SEとして数々の開発に従事中						
【教科書・参考文献】						
技術評論社 かんたんUML入門 [改訂2版]						

東京電子専門学校 情報処理科/システム開発コース

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース		2023年		2年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	講義	UML II		潮 達也	有	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

到達目標はシステム開発の実践の場で要件定義、基本設計、詳細設計、プログラム設計等でUMLを活用できるようになること。テーマはAstah Professionalを使いシステム要件に応じたダイアグラムが作成出来るようになること

【講義概要】

前期からの継続で、ダイアグラムの章ごとに基本的表現方法を実習し、基本演習問題から応用演習問題を行い理解度を把握、その演習問題のポイントと解法を解説し、ダイアグラムの表記法とその使用法をマスターする

回	授業計画及び学習の内容
1	シーケンス図 制御構造化表現の表記法 条件分岐 条件判断 繰り返し break パラレル クリティカル
2	シーケンス図 基本演習問題 応用演習問題 演習の解法・解説
3	コミュニケーション図 ライフライン表記法 メッセージの種類・表記法
4	コミュニケーション図の表現する相互作用 基本演習問題 応用演習問題 演習の解法・解説
5	ステートマシン図 基本的表記法 状態遷移の表記法 状態の階層化 疑似状態 状態再利用 拡張の表記
6	ステートマシン図 基本演習問題 応用演習問題 演習の解法・解説
7	中間試験
8	アクティビティ図 基本的表記法 並行処理の表記法 表記上の注意点
9	アクティビティ図 基本演習問題 応用演習問題 演習の解法・解説
10	パッケージ図 基本的表記法 パッケージ図の描き方 表記上の注意点
11	コンポーネント図 基本的表記法 描き方 表記上の注意点
12	配置図 基本的表記法 配置図の描き方 表記上の注意点
13	合成構造図 基本的表記法 合成構造図の描き方 合成構造図の注意点
14	総合演習1 総合的基本問題 総合的演習問題
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合	70%	10%	10%	10%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

独立系IT企業で、プロマネ、リーダー、SEとして数々の開発に従事中

【教科書・参考文献】

かんたんUML入門 技術評論社

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース		2023年		2年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	Linux I		清野ひろし	有	3単位 60時間

【授業の到達目標及びテーマ】

linuxはサーバーサービスを支えるOSである。目標は一般的なサービス機能を持つサーバーの構築である。

【講義概要】

はじめに、基本的なコマンドやスクリプトの使い方を学習し、その後で各自でサーバー構築を開始する。サーバー機能として、最低限のユーザー管理、FTP、Webサーバーの構築を行う。

回	授業計画及び学習の内容
1	unix基礎1 OSの基礎知識とlinuxまでのunixの歴史、実習の進め方
2	unix基礎2 ファイル、ディレクトリ関連コマンド、リダイレクト、パイプ
3	unix基礎3 viエディタ、ソート、検索、正規表現の基礎
4	unix基礎4 テキストフィルタコマンド
5	unix基礎5 スクリプトでの計算、文字列操作、制御構造if
6	unix基礎6 スクリプトの制御構造while、for
7	中間試験 ここまでの理解度チェック
8	中間試験までの復習
9	unix基礎7 実用的な課題、多分岐case
10	linuxインストール 簡易的なインストールにより、設定を行う。
11	標準的なファイル構成やルートシステム FHSに基づいて説明する。FTPサーバー
12	ユーザー管理
13	ファイルシステム iノード、リンク
14	スクリプトのレベルアップ。実用的な書き方、使い方の学習
15	期末試験 全体の理解度の確認

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合	75%		15%	10%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

8年間、SEとして実務経験あり。主に言語関係 (C、java、C++、C#、php、など)、linux、データベースなどを担当する。

【教科書・参考文献】

特になし。必要な資料は印刷やpdf形式で配布する。

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース		2023年		2年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	LinuxⅡ		清野ひろし	有	3単位 60時間

【授業の到達目標及びテーマ】

linuxはサーバーサービスを支えるOSである。目標は一般的なサービス機能を持つサーバーの構築である。

【講義概要】

linux1で学んだコマンドやスクリプトを有効に使って、パッケージ管理、デバイス管理、起動に関わる仕組み、プロセス管理、ネットワーク管理、メールシステムなどを学習する。

回	授業計画及び学習の内容
1	linuxのインストール、以降の実習に必要な設定、課題提出方法などを学習する。
2	コマンドとスクリプトの復習
3	Webサーバー設定
4	httpリクエストの仕組み、サーバーメッセージの解析
5	パッケージ管理 rpm、yumによるインストール、ソースからのアプリインストール
6	正規表現 awkを使って学習する。
7	中間試験 ここまでの理解度チェック
8	デバイスとファイルシステム
9	linuxの起動の仕組み
10	プロセス管理とスケジューリング
11	システム管理 環境変数、ログ、自動化、バックアップ
12	ネットワーク管理の基礎とネットワークサービス
13	メールサーバー、sambaサービス
14	予備 LPIC過去問練習
15	期末試験 全体の理解度の確認

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合	75%		15%	10%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

8年間、SEとして実務経験あり。主に言語関係(C、java、C++、C#、php、など)、linux、データベースなどを担当する。

【教科書・参考文献】

特になし。必要な資料は印刷やpdf形式で配布する。

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース		2023年		2年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	市場調査/要件定義		砂賀 勝己	無	1.5単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

現実に起こりうる「要件定義を元に、その要件に合うシステムの設計、機器構成、提案を行う」ための手法について学習する。
よりよい提案資料の作成方法についても考察を行う。

【講義概要】

原則としてグループ（2～3名）で作業をする。
評価は出席、レポート、各回の発表、公開資料、他者の講評にて行う。

回	授業計画及び学習の内容
1	
2	
3	・ 2～3週間に1回の割合で「要件」を指示。それについて必要な機器構成の検討、設計等を行い、提案資料を作成する。
4	
5	・ 各テーマの最後の回に発表を行う。
6	・ 評価は「この構成、製品を購入したい」という意見の一番多かったグループを100点、2番を80点、3番を70点、残りを60点の評価とし、これを合算して行う。
7	
8	・ テーマの例
9	①現在は自由にインターネットを利用できるようにしているが、最近業務に関係のないページばかり見ている社員がいる。会社全体でインターネットの閲覧を制限したい。
10	②情報漏洩が心配なので社員が使うPCでハードディスクやUSBメモリなどの記憶媒体を使わせないようにしたい。
11	③現在はネットワーク機器の故障時に新しい機器を購入
12	→その機器を壊れた機器と同じ構成に設定→機械を入れ替え
13	という手順を踏んでいるが、もっと手間のかからない方法はないか？
14	など
15	

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 (講義概要/授業計画欄を参照)	合計
割合					100%	100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース		2023年		2年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	卒業制作 I		成田 与志子	無	3単位 60時間

【授業の到達目標及びテーマ】

1年半に渡って学んできたプログラミングの知識、技術の総決算として相応しい規模を持ったプログラムを作成する。2～3人のグループを作成し各学生の役割分担を行いグループ作業を学ぶ。

【講義概要】

グループワークを前提として、リーダーを中心に作業を進めるうえでスケジュール管理、プロジェクト管理について指導する。卒業制作発表会および中間発表のためのスライドの作成方法、発表の仕方について学ぶ。

回	授業計画及び学習の内容
1	卒業制作で何を作るか、各グループで相談する。グループリーダーおよび各学生の役割を決定する。
2	第1回卒業制作中間発表の準備 中間発表のための配布資料とプレゼンテーション用スライドの作成
3	第1回卒業制作中間発表
4	卒業論文の書き方の説明 卒業制作のグループ作業の進捗指導
5	卒業制作のグループ作業の進捗指導
6	卒業制作のグループ作業の進捗指導
7	卒業制作のグループ作業の進捗指導
8	第2回卒業制作中間発表の準備 中間発表のための配布資料とプレゼンテーション用スライドの作成
9	第2回卒業制作中間発表
10	卒業制作のグループ作業の進捗指導
11	卒業制作のグループ作業の進捗指導、卒業論文の作成
12	卒業制作のグループ作業の進捗指導、卒業論文の作成
13	卒業制作発表の準備 卒業制作発表のための配布資料とプレゼンテーション用スライドの作成
14	卒業制作発表のためのリハーサル
15	卒業制作発表

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（プレゼンテーション）	合計
割合	60%		20%		20%	100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース		2023年		2年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	卒業制作Ⅱ		成田 与志子	無	1.5単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

1年半に渡って学んできたプログラミングの知識、技術の総決算として相応しい規模を持ったプログラムを作成する。2～3人のグループを作成し各学生の役割分担を行いグループ作業を学ぶ。

【講義概要】

グループワークを前提として、リーダーを中心に作業を進めるうえでスケジュール管理、プロジェクト管理について指導する。卒業制作発表会および中間発表のためのスライドの作成方法、発表の仕方について学ぶ。

回	授業計画及び学習の内容
1	卒業制作で何を作るか、各グループで相談する。グループリーダーおよび各学生の役割を決定する。
2	第1回卒業制作中間発表の準備 中間発表のための配布資料とプレゼンテーション用スライドの作成
3	第1回卒業制作中間発表
4	卒業論文の書き方の説明 卒業制作のグループ作業の進捗指導
5	卒業制作のグループ作業の進捗指導
6	卒業制作のグループ作業の進捗指導
7	卒業制作のグループ作業の進捗指導
8	第2回卒業制作中間発表の準備 中間発表のための配布資料とプレゼンテーション用スライドの作成
9	第2回卒業制作中間発表
10	卒業制作のグループ作業の進捗指導
11	卒業制作のグループ作業の進捗指導、卒業論文の作成
12	卒業制作のグループ作業の進捗指導、卒業論文の作成
13	卒業制作発表の準備 卒業制作発表のための配布資料とプレゼンテーション用スライドの作成
14	卒業制作発表のためのリハーサル
15	卒業制作発表

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（プレゼンテーション）	合計
割合	60%		20%		20%	100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース		2023年		2年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	卒業制作Ⅲ		成田 与志子	無	1.5単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

1年半に渡って学んできたプログラミングの知識、技術の総決算として相応しい規模を持ったプログラムを作成する。2～3人のグループを作成し各学生の役割分担を行いグループ作業を学ぶ。

【講義概要】

グループワークを前提として、リーダーを中心に作業を進めるうえでスケジュール管理、プロジェクト管理について指導する。卒業制作発表会および中間発表のためのスライドの作成方法、発表の仕方について学ぶ。

回	授業計画及び学習の内容
1	卒業制作で何を作るか、各グループで相談する。グループリーダーおよび各学生の役割を決定する。
2	第1回卒業制作中間発表の準備 中間発表のための配布資料とプレゼンテーション用スライドの作成
3	第1回卒業制作中間発表
4	卒業論文の書き方の説明 卒業制作のグループ作業の進捗指導
5	卒業制作のグループ作業の進捗指導
6	卒業制作のグループ作業の進捗指導
7	卒業制作のグループ作業の進捗指導
8	第2回卒業制作中間発表の準備 中間発表のための配布資料とプレゼンテーション用スライドの作成
9	第2回卒業制作中間発表
10	卒業制作のグループ作業の進捗指導
11	卒業制作のグループ作業の進捗指導、卒業論文の作成
12	卒業制作のグループ作業の進捗指導、卒業論文の作成
13	卒業制作発表の準備 卒業制作発表のための配布資料とプレゼンテーション用スライドの作成
14	卒業制作発表のためのリハーサル
15	卒業制作発表

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（プレゼンテーション）	合計
割合	60%		20%		20%	100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース		2023年		2年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 選択	実習	エクスターンシップ I		情報処理科 担当教員	無	3単位 60時間

【授業の到達目標及びテーマ】

実際に情報処理関連業務の就業を経験する

【講義概要】

情報処理関連業務へ就業し、実際の業務に携わることで業務経験を積む。その業務経験のレポートを作成する。

回	授業計画及び学習の内容
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	情報処理関連業務への就業を経験。 業務により得られた経験をレポートとして作成する。
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（就業状況等）	合計
割合	100%		50%		50%	100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース		2023年		2年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 選択	実習	エクスターンシップⅡ		情報処理科 担当教員	無	3単位 60時間

【授業の到達目標及びテーマ】

実際に情報処理関連業務の就業を経験する

【講義概要】

情報処理関連業務へ就業し、実際の業務に携わることで業務経験を積む。その業務経験のレポートを作成する。

回	授業計画及び学習の内容
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	情報処理関連業務への就業を経験。 業務により得られた経験をレポートとして作成する。
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（就業状況等）	合計
割合	100%		50%		50%	100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース	2023年		2年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 必修	講義	セキュリティⅡ	久良知 眞紀子	有	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

情報セキュリティマネジメント試験の午前・午後問題分野について、要点確認と問題演習を行う。

【講義概要】

教科書の単元に沿って解説する。毎回、授業の最後に、その日の授業の範囲から出題した小テストを行う。

回	授業計画及び学習の内容
1	情報セキュリティ全般：単元01 情報セキュリティ
2	情報セキュリティ全般：単元02 マルウェア、単元03 パスワードの不正入手/不正利用、
3	情報セキュリティ全般：単元04 Webサイト利用者への攻撃、単元05 サービスの妨害/悪用、
4	情報セキュリティ全般：単元06 人的脅威、単元07 物理的脅威/その他の脅威、
5	情報セキュリティ全般：単元08 暗号化技術、単元09 認証技術
6	情報セキュリティ全般：単元10 デジタル署名
7	中間試験
8	情報セキュリティ対策：単元11 マルウェア対策、単元12 不正アクセス対策
9	情報セキュリティ対策：単元13ネットワークセキュリティ、単元14情報漏えい対策
10	情報セキュリティ対策：単元15その他のセキュリティ対策
11	情報セキュリティ管理：単元16 情報セキュリティマネジメント、単元17 ISMS
12	情報セキュリティ管理：単元18 リスクマネジメント、単元19 情報セキュリティインシデント管理
13	情報セキュリティ関連法規：単元20 情報セキュリティ関連法規
14	総合問題
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%			20%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

① 銀行でシステム開発 (2年) ②ソフトウェア開発会社でシステム開発 (2年) ③起業し、システム開発、教育、翻訳、テクニカルライティング (20年)

【教科書・参考文献】

情報セキュマネ試験 要点&問題集 (インフォテックサーブ)

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース		2023年		2年 通年
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 必修	講義	セキュリティⅢ		砂賀 勝己	無	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

マイクロソフト/Windowsのセキュリティの基礎をベースに、セキュリティに関する素養を身につける。

【講義概要】

回 授業計画及び学習の内容

1	セキュリティ基礎
2	セキュリティ基礎
3	攻撃手法
4	攻撃手法
5	ネットワークのセキュリティ
6	ネットワークのセキュリティ
7	中間試験
8	OSのセキュリティ
9	OSのセキュリティ
10	OSのセキュリティ
11	クライアントとサーバー、アプリケーションのセキュリティ
12	クライアントとサーバー、アプリケーションのセキュリティ
13	クラウドのセキュリティ
14	理解度確認
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合	100%					100%

- (補足)
- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
 - ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース	2023年		2年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 必修	講義	Java資格対策	坂東 佑一	有	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

Oracle社認定のJavaの資格試験であるJava SE Bronze (1Z0-818) への合格をストイックに目指す

【講義概要】

本授業では資格取得を最重視し、教科書(毎回必携)を各人3回は反復してもらう。講義は最小限とし、残りはすべて教科書演習とする。質問がある者は適宜教員に質問をすること。資格取得で、授業・試験ともに免除とする。

回	授業計画及び学習の内容
1	教科書問題演習
2	教科書問題演習
3	教科書問題演習
4	教科書問題演習
5	教科書問題演習
6	教科書問題演習
7	中間試験
8	教科書問題演習
9	教科書問題演習
10	教科書問題演習
11	教科書問題演習
12	教科書問題演習
13	教科書問題演習
14	教科書問題演習
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合	100%					100%

- (補足)
- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
 - ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

慶應義塾大学理工学部情報工学科卒(学士)、東京大学大学院学際情報学府修了(修士)
NTT研究所(2013-2015)にてクラウド基盤に関する研究、慶應義塾ITC(2015-2020)にて勤務

【教科書・参考文献】

インプレス社 徹底攻略Java SE Bronze問題集 [1Z0-818] 対応

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース	2023年		2年 通年
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 必修	講義	国家資格試験対策 I	産学連携	無	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

半期に一度集中講義の形で開講

- ・基本情報技術者対策
社会人向けに資格対策講座を実施している教育ベンダと提携し、講師を派遣してもらい講義を行う。
- ・ITパスポート対策
e-ラーニング講座
- ・情報セキュリティマネジメント
社会人向けに資格対策講座を実施している教育ベンダと提携し、講師を派遣してもらい講義を行う。

【講義概要】

回	授業計画及び学習の内容
1	<p>★基本情報技術者対策</p> <p>①「基本情報技術者試験の概要」 ・出題傾向と学習方法</p> <p>②「データ構造及びアルゴリズム」 ・擬似言語の解き方、配列操作、探索アルゴリズム</p> <p>③「データ構造及びアルゴリズム」 ・文字列操作、文字列の比較、転記、圧縮 等</p> <p>④「データ構造及びアルゴリズム」 ・データ構造、スタック、木構造 等</p> <p>⑤「データ構造及びアルゴリズム」 ・その他のアルゴリズム 等</p> <p>⑥「情報セキュリティ」 ・暗号化技術、認証技術、不正アクセス対策</p> <p>⑦「情報セキュリティ」 ・ネットワークセキュリティ、情報セキュリティマネジメント、リスク管理</p> <p>⑧本試験の受験、または模擬テスト</p> <p>★ITパスポート対策 e-ラーニング講座</p> <p>★情報セキュリティマネジメント 過去問題を中心に解説</p>
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合				100%		100%

- (補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース	2023年		2年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 選択	講義	セキュリティマネジメント対策Ⅲ	産学連携	無	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

国家試験 情報セキュリティマネジメント の試験対策講座。
原則として本試験の受験をすることを受講条件とする。

【講義概要】

半期に一度集中講義の形で開講。
社会人向けに資格対策講座を実施している教育ベンダと提携し、講師を派遣してもらい講義を行う。
Iと同じ内容だが、I II受講者で資格未取得者は再度受講ができる。

回	授業計画及び学習の内容
1	
2	①「情報セキュリティマネジメント試験の概要」
3	・出題傾向と学習方法
4	②「情報セキュリティ全般」
5	・情報セキュリティの概念、マルウェア、パスワードの不正入手/不正利用
6	③「情報セキュリティ全般」
7	・Webサイト利用者への攻撃、サービスの妨害/悪用、人的脅威/物理的脅威/その他の脅威
8	④「情報セキュリティ全般」
9	・暗号化技術/認証技術、デジタル署名
10	⑤「情報セキュリティ対策」
11	・マルウェア対策、不正アクセス対策
12	⑥「情報セキュリティ対策」
13	・ネットワークセキュリティ、情報漏えい対策、その他のセキュリティ対策
14	⑦「情報セキュリティ管理」
15	・情報セキュリティマネジメント、ISMS、リスクマネジメント
	⑧「情報セキュリティ管理」
	・情報セキュリティインシデント管理
	⑨「情報セキュリティ関連法規」
	・情報セキュリティ関連法規

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合				100%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース	2023年		2年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 選択	実習	MOS対策Ⅲ	坂本 知美	有	1単位 20時間

【授業の到達目標及びテーマ】

マイクロソフトMOS資格の対策講座。
原則として資格試験の受験を目指すことを受講条件とする。

【講義概要】

模擬試験ソフトを使用し、繰り返し練習を行う

回	授業計画及び学習の内容
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	模擬問題ソフトを繰り返し練習し、ランダム出題で80%以上の点数取得を目指す。
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合				100%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

- 独立系IT企業の組込み事業部にて、SE・PGとしてソフトウェア開発業務に従事。
- カーオーディオのマイコン制御処理や、他機器との通信処理の開発業務を行った。
- スマートフォンのアプリ開発や、他機器との通信処理の開発業務を行った。

【教科書・参考文献】

FOM出版。MOS模擬問題集

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース		2023年		2年 通年
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 選択	講義	ITDX論文研究		情報処理科 担当教員	無	4単位 60時間

【授業の到達目標及びテーマ】

ITやDXに関する論文を研究し、自ら論文形式のレポートの作成も行う。

【講義概要】

I情報技術の知識と共にアカデミックな論文の書き方を研究し、自らも論文形式のレポートの作成を行う。

回	授業計画及び学習の内容
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	学術論文の研究。論文形式のレポートの作成。
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合			100%			100%

- (補足)
- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
 - ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース	2023年		2年 通年
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 選択	講義	社会人教養 (IT系)	情報処理科 担当教員	無	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

社会人として身に着けるべき教養を学ぶ

【講義概要】

e-ラーニングにより社会人として身に着けるべき教養を学習する。この科目ではIT系の知識を学習する。

回	授業計画及び学習の内容
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	e-ラーニングの内容によって異なる。 設定されている学修時間を満たすことにより単位認定が行われる。
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 (受講状況)	合計
割合	100%		50%		50%	100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース		2023年		2年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 選択	講義	社会人教養（資格取得系）		情報処理科 担当教員	無	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

社会人として身に着けるべき教養を学ぶ

【講義概要】

e-ラーニングにより社会人として身に着けるべき教養を学習する。この科目では資格取得を目的とした学習を行う。

回	授業計画及び学習の内容
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	e-ラーニングの内容によって異なる。 設定されている学修時間を満たすことにより単位認定が行われる。
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（受講状況）	合計
割合	100%		50%		50%	100%

- (補足)
- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
 - ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース	2023年		2年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 必修	講義	一般常識 I	唐戸 民雄	無	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

基本的な計算力、一般的な漢字の読み、社会科系統・理科系統の基本的な知識を再確認する。

【講義概要】

言語事項の確認、社会科系統（地理・歴史・政治経済）、理科系統（物理・化学・地学・生物）などの基礎知識、就職試験、SPIなどでも出題される早さ、通貨算、鶴亀算などを確認する。毎回、確認テストを行う。

回	授業計画及び学習の内容			
1	言語事項の確認1	社会科系統1	理数系統1	確認テスト1
2	言語事項の確認2	社会科系統2	理数系統2	確認テスト2
3	言語事項の確認3	社会科系統3	理数系統3	確認テスト3
4	言語事項の確認4	社会科系統4	理数系統4	確認テスト4
5	言語事項の確認5	社会科系統5	理数系統5	確認テスト5
6	言語事項の確認6	社会科系統6	理数系統6	確認テスト6
7	言語事項の確認7	社会科系統7	理数系統7	確認テスト7
8	中間試験			
9	言語事項の確認8	社会科系統8	理数系統8	確認テスト8
10	言語事項の確認9	社会科系統9	理数系統9	確認テスト9
11	言語事項の確認10	社会科系統10	理数系統10	確認テスト10
12	言語事項の確認11	社会科系統11	理数系統11	確認テスト11
13	言語事項の確認12	社会科系統12	理数系統12	確認テスト12
14	言語事項の確認13	社会科系統13	理数系統13	確認テスト13
15	期末試験			

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%	10%		10%		100%

- (補足)
- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
 - ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

授業時にプリントを配付する。

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース	2023年		2年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 必修	講義	一般常識Ⅱ	唐戸 民雄	無	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

基本的な計算力、一般的な漢字の読み、社会科系統・理科系統の基本的な知識を再確認する。

【講義概要】

言語事項の確認、社会科系統（地理・歴史・政治経済）、理科系統（物理・化学・地学・生物）などの基礎知識、就職試験、SPIなどでも出題される早さ、通貨算、鶴亀算などを確認する。毎回、確認テストを行う。

回	授業計画及び学習の内容			
1	言語事項の確認1	社会科系統1	理数系統1	確認テスト1
2	言語事項の確認2	社会科系統2	理数系統2	確認テスト2
3	言語事項の確認3	社会科系統3	理数系統3	確認テスト3
4	言語事項の確認4	社会科系統4	理数系統4	確認テスト4
5	言語事項の確認5	社会科系統5	理数系統5	確認テスト5
6	言語事項の確認6	社会科系統6	理数系統6	確認テスト6
7	言語事項の確認7	社会科系統7	理数系統7	確認テスト7
8	中間試験			
9	言語事項の確認8	社会科系統8	理数系統8	確認テスト8
10	言語事項の確認9	社会科系統9	理数系統9	確認テスト9
11	言語事項の確認10	社会科系統10	理数系統10	確認テスト10
12	言語事項の確認11	社会科系統11	理数系統11	確認テスト11
13	言語事項の確認12	社会科系統12	理数系統12	確認テスト12
14	言語事項の確認13	社会科系統13	理数系統13	確認テスト13
15	期末試験			

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%	10%		10%		100%

- (補足)
- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
 - ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

授業時にプリントを配付する。

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース	2023年		2年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 必修	講義	基礎英語Ⅱ	茂木康有 Tope Salami	有	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

1. Python English 2年目のクラスなので、英語を感覚で理解できるようにする。
2. Pythonプログラミングを英語で理解し、英語で説明できるようにする。

【講義概要】

90分授業を前半と後半に分け、前半は日本人講師による英語の考え方、伝え方、パイソン用語などを日本語で解説。後半は、英語母語の講師により実際にパソコンを使ったPythonプログラミング実習を英語で行う。

回	授業計画及び学習の内容
1	前学期の復習1
2	前学期の復習2
3	Choosing mnemonic variable names
4	Logical operators
5	Conditional execution
6	Alternative execution
7	Chained Conditionals
8	Nested Conditionals
9	Catching exceptions using try and except
10	Debugging
11	Make a game 1
12	Make a game 2
13	Functions
14	Function calls
15	Review

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合	100%					100%

- (補足)
- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
 - ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
 - ・難問により平均点が低ければ出席率を加点考慮対象とする

【教員紹介】

茂木康有 (Steve Mogi) : アメリカ、ドイツ、オーストラリア企業に約20年勤務ののち2010年ICT教育研修研究所を設立。現在は各種英語科目を専門学校等へ提供。また、コミュニケーション関連研修を各種企業へ提供。Tope Salami : IT関連会社運営、カナダ、サウジアラビア、日本で合計9年の英語関連、Pythonプログラミング関連の実務経験。生徒が授業に積極的に参加する雰囲気作りに情熱を注いでいる。

【教科書・参考文献】

Trinket - Python Book

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース	2023年		2年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 必修	講義	表現技法	唐戸 民雄	無	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

前半では日本語についての再確認をする。些細なことでもかまわないので、自分たちの言葉についての意識を持って欲しい。後半は、社会人として仕事していく上での基本、ビジネス文書について学ぶ。

【講義概要】

普段使っている日本語を見直す。また、ビジネスの現場での文書の意義、働き、流れ等を確認する。社会人としての基本を身につける。毎回、日本語の語彙に関する確認の小テストを行う。その他、適宜、講義内容に関連する新たな話題を紹介することもある。大きくシラバスから逸脱することはないが、内容が少し変わることもある。

回	授業計画及び学習の内容
1	表現とは何か
2	表現本能 表現行為 言語について
3	日本語について1 他言語との比較 日本語の特徴 語彙の面から①
4	日本語の特徴 語彙の面から② 表記の面から など
5	日本語の文体 音声言語と文字言語の相違
6	文章の構成 横書き原稿用紙の使い方
7	読点の付け方 中間試験対策
8	中間試験
9	ビジネス文書 概説 問題演習
10	ビジネス文書 社内文書① 問題演習
11	ビジネス文書 社内文書② 問題演習
12	ビジネス文書 社外文書① 問題演習
13	ビジネス文書 社外文書② 問題演習
14	ビジネス文書 まとめ 確認演習問題
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合	80%	10%		10%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

授業時にプリントを配布する。

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース	2023年		2年 通年
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 必修	実習	体育実習Ⅱ	情報処理科 担当教員	無	3単位 60時間

【授業の到達目標及びテーマ】

運動や、課外活動、学園祭を通して、健全な身体と精神を育む。
 ハイキングは、自然の多い公園などをおおむね 4時間程度歩き、心身のバランスを図ります。
 学園祭は、各種催し物の企画、準備、実施、参加により、協調性を養います。
 心身の健全な育成を目指しています。

【講義概要】

この授業は、春と秋のハイキング、学園祭（準備2日間、学園祭2日間）の参加を以て、評価します。

回	授業計画及び学習の内容
1	
2	春のハイキング
3	
4	
5	学園祭準備（1日目、2日目）
6	
7	
8	学園祭（1日目）
9	
10	
11	学園祭（2日目）、後片付け
12	
13	
14	秋のハイキング
15	

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（出席と取り組む姿勢）	合計
割合					100%	100%

（補足）
 ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	時間割	履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム開発コース	2023年		2年 通年
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 選択	講義	社会人教養（非IT系）	情報処理科 担当教員	無	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

社会人として身に着けるべき教養を学ぶ

【講義概要】

e-ラーニングにより社会人として身に着けるべき教養を学習する。この科目では非IT系の知識を学習する。

回	授業計画及び学習の内容
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	e-ラーニングの内容によって異なる。 設定されている学修時間を満たすことにより単位認定が行われる。
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（受講状況）	合計
割合	100%		50%		50%	100%

- (補足)
- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
 - ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

【教科書・参考文献】